

とらわれのアクション Action Enchained

アリストイド・マイヨール Aristide Maillol

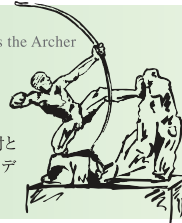
豊満な女性の体に男性的な顔を備え、後ろ手に縛られ身をよじり自由への希求を表現した作品。そのボリュームは見るものを圧倒します。長い獄中生活を送った革命家ブランキの記念碑です。



弓を引くヘラクレス Hercules the Archer

エミール=アントワーン・ブールデル Émile-Antoine Bourdelle

ギリシャ神話の英雄ヘラクレスが怪鳥を射とめようとする瞬間を表現した。ブールデルは約15年間ロダンの助手も務めました。



バルザック記念像 Monument to Balzac

オーギュスト・ロダン Auguste Rodin

《考える人》の作者ロダンは、生命感あふれる表現で彫刻界に近代化をもたらしました。文豪バルザックの苦悩する内面性を、深夜に想を練るガウン姿で表現しています。



人とペガサス Man and Pegasus

カール・ミレス Carl Milles

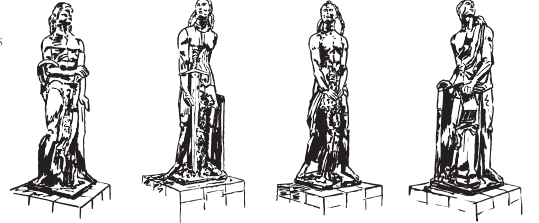
ギリシャ神話の英雄ペロポフォンが天馬ペガサスに乗って、怪物キマイラの退治に向かう場面。19メートルの台座の上に展示されるこの作品は、空を背景にした野外に映えています。



力、勝利、自由、雄弁 Four Grand Statues

エミール=アントワーン・ブールデル Émile-Antoine Bourdelle

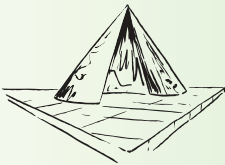
アルゼンチン共和国の建国の父、アルヴェアル將軍の騎馬像を囲む4つ彫刻の習作。左から《力》、《勝利》、《自由》、《雄弁》。將軍の理想と業績をシンボルとして表したものです。



極 Pole

多田美波 Minami Tada

磨きこまれたステンレスの面に空やまわりの木の枝が映り、広がった裾から内側に入りこんで天へと抜けていきます。見る者と環境を取りこんだ光の乱反射の世界が広がります。



雨の山 Rain Mountain

イサム・ノグチ Isamu Noguchi

鋼鉄を熱い亜鉛に浸してメッキしたシリーズのひとつ。中国の山にアメリカの自然と異なる雰囲気を感じ取り作られたというこの作品は、日本の風景にすんなりと溶け込んでいます。



大きな手 Big Hand

ライナー・クリスター Rainer Kriester

地面から生えてくるような巨大な手。ナチスドイツの迫害で苦しんだ過去を持つクリスターは、作品の中で生きることへの切望を表現しています。



女 Woman

朝倉響子 Kyoko Asakura

軽やかな波上のリズムと空間を斜めに横切る大胆なポーズ。女流作家による繊細な配慮がいとどいた作品です。情感を適度に抑制され、女性の内側に秘めた美しさが象徴的に高められています。



鶏を抱く女 Girl with Cock

本郷新 Shin Hongo

モニュメントの先駆者、本郷新は母子や若者といった普遍的な人間の姿を主題として数多くの作品を手がけました。瞳を閉じ立ちすくむ少女の姿からは、存在感が伝わってきます。



マント Mantle

佐藤忠良 Churyo Sato

都会的で洗練された現代の女性を表現した作品。髪、顔の形や目鼻立ち、マント、ブーツなどが簡潔にとらえられ、女性らしいたたずまいが感じられます。作者の長女がモデルとなっています。



海 The Sea

高田博厚 Hiroatsu Takata

茫洋とした海の汀に静かに、足を浸す裸婦の姿に、作者の母への追憶を重ねた作品です。故郷の石川県能登七尾の海への思いも込められています。



戦士 The Warrior

マリノ・マリニー Marino Marini

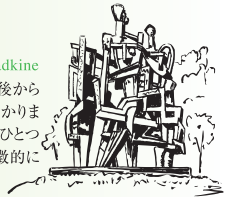
ざらざらとしたブロンズの表面が、荒々しい表情をみせています。一見、抽象彫刻のようにも思いますがここには、力尽き、今にも倒れようとする馬と戦士の姿が表されています。



住まい The Dwelling

オシップ・ザツキン Ossip Zadkine

ウェーブした髪を持つのが女性で、背後から女性を支えているのが男性だとわかります。肩を寄せつつ腕をからませながらひとつの集合体を作り上げ、家族の絆を象徴的に表わしています。



球体をもった球体 Sphere Within a Sphere

アルナルド・ポモドーロ Arnaldo Pomodoro

菌型のような割れ目と触まれたような内部は、滑らかな表皮と対照的な様態を見せ、見る者を驚かせます。球体は小さな球体を内包し、新たな生命を育てているように見えますが、それとすでに触まれています。



my sky hole 84 HAKONE

my sky hole 84 HAKONE

井上武吉 Bukichi Inoue

天に伸びる4本の柱から球体がぶら下がっています。様々な姿を映し出す空の穴は無数の世界を作り上げます。井上武吉は「マイスカイホール」をテーマに数多くの作品を手がけました。



浮かぶ彫刻3 Floating Sculpture 3

マルタ・パン Marta Pan

緑豊かな日本の池に浮かぶ、大小ふたつの朱色の彫刻は一对のものです。大きい形からくぬかれた小さな片は池の中で向きを変え、水の流れや気配までも感じ取ることができます。



若い女 Young Woman

佐藤忠良 Churyo Sato

大きく曲がりかねた動きのある女性のフォルムを、緊張したモザイクを重ねながら制作された作品。ジーンズをつけた半裸の女性像からは、健康的な美しさが伝わってきます。



みちのく Michinoku (Northeast of Japan)

高村光太郎 Kotaro Takamura

同じ作品が十和田湖畔に立つ、高村光太郎晩年の作。同一の裸婦像が向い合わせになっています。こびるようでないながら、右手は内部にひそむ強い抵抗精神をあらわしています。冬に向かって身構える秋がテーマとなっています。



エーゲ海に捧ぐ Dedicated to the Aegean Sea

木内克 Yoshi Kinouchi

地中海のさざ波を思わせるウェーブされた長い髪、すんなりと細く伸びる脚と豊かな腰をもつ女性像。前と後ろのボリュームは横から見ると消えてなくなり、軽やかさのある作品に変わっています。



道東の四季 - 春 Four Seasons in Eastern Hokkaido - Spring

舟越保武 Yasutake Funakoshi

風の音に聞き入るかのように静かにたたずむ女性像。聖母のようにほほえむ姿からは、厳しい冬の後によくや訪れた春のよこびや希望がこめられています。



道東の四季 - 秋 Four Seasons in Eastern Hokkaido - Autumn

柳原義達 Yoshitatsu Yanagihara

拳を握った左手を手首から下に垂らしたポーズは、こびるようでないながら、右手は内部にひそむ強い抵抗精神をあらわしています。冬に向かって身構える秋がテーマとなっています。



預言者 - 大 Great Prophet

パブロ・ガルガリオ Pablo Gargallo

右手を振り上げて高らかに叫ぶ預言者。旧約聖書の登場人物、聖ヨハネの姿をかたどった鉄の彫刻家ガルガリオの代表作です。中空となった胴体や面と面の交差などキュビスムの手法で制作されています。



歩く花 Walking Flower

フェルナン・レジェ Fernand Léger

20世紀前半に活躍した画家レジェは、晩年に建築との共同制作を目的とするモニュメントを手がけました。躍動感あふれるこの作品は、太陽に向かって勢いよく前進しているかのようにみえます。



海辺を歩く少女

Girl Walking along the Seashore

ヴェナンツォ・クロチェッティ Venanzo Crocetti

貝を耳にあてて、たたずむ一人の少女。繊細な表情とほっそりとした身体には、瑞々しい若さが普遍的な美として捉えられています。



幸せをよぶシンフォニー彫刻

Symphonic Sculpture

ガブリエル・ロアール Gabriel Loire

高さ18メートルの塔。分厚いガラスを楯で手割りにした破片で作られたステンドグラスが全面にはめ込まれ、外光を複雑に屈折しながら透過させて幻想的な美しい世界を創造しています。

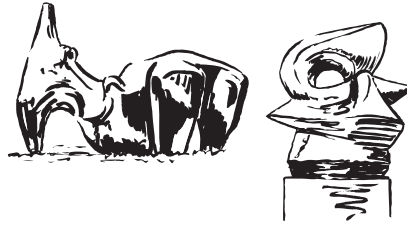


横たわる像 Reclining Figure

大きな糸つむぎの形 Large Spindle Piece

ヘンリー・ムーア Henry Moore

ムーアは、生涯を通じて〈母と子〉〈横たわる像〉〈内なるものと外なるもの〉をテーマにした作品を繰り返しつくりました。野外作品について「彫刻の背景として空以上にふさわしいものはない」と語っています。



密着 III Close III

アントニー・ゴームリー

Antony Gormley

手足を思い切り伸ばし、大地にまぎに密着しようとしている姿。作者自身の身体の型を取って作られた。鉄の塊が自重で地球の芯に引きつけられる姿は、私たちが地球の一部であることを強く感じさせます。



アトモス Atmos

トニー・クラッグ Tony Cragg

大気を意味する作品名や実験器具や蒸留器のようなかたちから、大気を浄化する装置のように見えます。人間とその環境との関係を変えることを促しているようです。



ミス・ブラック・パワー

Miss Black Power

ニキ・ド・サン・ファール Niki de Saint Phalle

巨大な女性像(ナチ)シリーズのひとつ。極端に小さな手足。カラフルなドレスとバックをもち、大地にどっしりと立っています。生命の源としての女性の自信に満ちた、女性自身による高らかな女性賛歌の像です。

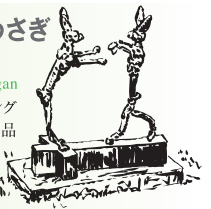


ボクシングをする二匹のうさぎ

The Boxing Ones

バリー・フラナガン Barry Flanagan

2匹の野うさぎが十字架の上で、ボクシングかダンスでもして戯れているかのような作品です。野うさぎには教訓や寓意が秘められ、ただかわいいだけではないことを表しています。



偉大なる物語 A Grand Story

ジュリアーノ・ヴァンジ Giuliano Vangi

総重量25トンを超えるイタリア・カララ産の大理石に彫られた群像です。人間の存在とその意味、とくに男の人生をあらわしています。

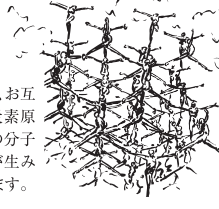


交叉する空間構造

Intersecting Space Construction

後藤良二 Ryoji Goto

黒い男性像と赤い女性像が各72体、お互いに手足をつなぎ連なっています。炭素原子を人体に置き換えてダイヤモンドの分子構造を表わしました。人間の連帯が生み出す若々しいエネルギーが感じられます。

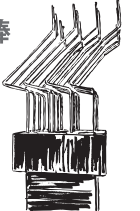


16本の回転する曲がった棒

Sixteen Turning Sticks

伊藤隆道 Takamichi Ito

作品は電気を使い、モーターで回っています。ステンレスの曲がった棒は単純な動きをくり返しているのに、光を反射させながら空や周りの風景を写しこみ、くねくねと回っているように見えます。



シュトルム(暴風) Sturm (Storm)

マッチンスキー=デニングホフ

Matschinsky-Denninghoff

シュトルムは、ドイツ語で嵐を意味します。細いステンレスの棒を溶接してできた幹は、嵐の中でも忍耐強く大地に根差し、自然のもつ力強さを表現しています。マッチンスキーとデニングホフ夫婦による作品です。

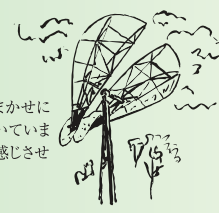


終りのない対話

Never-Ending Dialogue

新宮 晋 Susumu Shingu

キャンバスを張った帆がふたつ、風まかせに向きを変えながら、上下や左右に動いています。風や光など、自然のエネルギーを感じさせてくれる作品です。

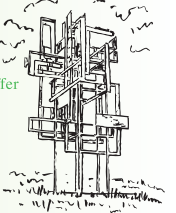


空間力学No.22

Spatial Dynamics No. 22

ニコラ・シェフェール Nicolas Schöffer

磨かれたステンレスの細い柱が縦横に交差し、光を反射しながら軽快なリズムを作り上げています。時間や光などを作品に取り込んだシェフェールの代表的な作品です。



横たわる像:アーチ状の足

Reclining Figure: Arch Leg

ヘンリー・ムーア Henry Moore

大地の上に横たわる褐色の彫刻。丸みを帯びた有機的な形態は、横たわる人の姿を表しています。当館が最初に所蔵したムーアの作品です。

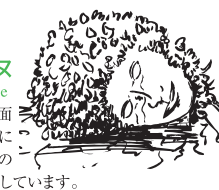


嘆きの天使 The Weeper

フランソワ=

ザビエ、クロード・ラランヌ

François-Xavier and Claude Lalanne ラランヌ夫妻の共同制作の作品。水面に映った自分に恋したギリシヤ神話に登場する青年ナルシスのように、この天使も陶醉した表情を水面に映し出しています。



my sky hole 79 天をのぞく穴

my sky hole 79 peephole on the sky

井上武吉 Bukichi Inoue

茶色い鉄の箱から地下にもぐり、透明なガラスの箱から再び出るという鑑賞者の体験そのものを作品としています。地下の小部屋にある天をのぞく穴から空を眺めると、地球の鼓動を感じる事ができます。



樹人 Tree Man

岡本太郎 Taro Okamoto

樹人の題名のとおり、どこか人間的な暖かみを感じられる作品です。広大な自然の中で自由奔放に増殖し続けていくような形態には、ダイナミックな生命力が感じられます。

